

7・28 中央行動

消費増税反対 猛暑のなか 全国から2000名が諸行動を展開

最低賃金引き上げ

公務員賃金改善

10人事務局、最低賃金審議会へのたたかいが重要な時期をむかえ、全労連と国民春闘共闘、国民大運動実行委員会は、最低賃金の大幅引き上げによる貧困の根絶や景気回復を求める7・28中央行動が東京霞ヶ関で開催され、全国から2000名(府職労から4名)が参加しました。



「地域主権戦略大綱」の閣議決定について、麻生会長が高く評価していること、真意について質したところ、調査第一重松部長は「全てが良いと言う物ではないが、閣議決定されたことで、協議の位置づけができた。一方的に上からの押し付けとならないことが、一歩前進と言う意味で評価したもの」地方への権限委譲や道州制についても「住民サービス向上の観点で地方でできるところは地方

で、事業の効率等により必要とあれば進めて行くものであり、道州制についても中央集権的な道州制でなく、地方分権の延長線上での道州制とされており、そのことがありきではない」と回答。行革についても「各都道府県が競い合う形で行われているが、厳しい財政事情の下、住民に理解を求めれば、まずは行革がなければ理解が得られない」と答えました。

部会からは、これまでの国の失政がここまで、景気を悪くしてきた。10年を超えるこの間の行革も全く役に立っていない。住民の生



全国知事会と懇談する自治労連都道府県職部会

炎天下のもと、12時からの日比谷野外音楽堂での総決起集会から、厚生労働省・人事院前要求行動、各省庁前(財務・総務・公務員制度改革推進本部・農林水産要求行動、厚生労働省前最賃改善座り込み行動、銀座パレードの16時まで行動が行われ、「賃上げでこそ景気回復ができる」と訴えま

本庁ニュースが5000号迎える

本庁ニュースが、2010年7月26日、5000号を迎えました。発行部数が5000部を超すかつてない規模の日刊職場新聞を創刊以来、月曜日～金曜日(祝日、年末年始を除く)まで、一日も休むことなく発行し、読者との対話型の紙面づくりをめざしてきました。



日刊ニュースは、職員の声をどんどん掲載し、要求実現に向け威力を発揮してきました。「毎週水曜日はノー残業デー。定時に帰りましょう」の要求を掲げ、残業実態調査の実施、本庁ニュースでのキャンペーン、粘り強い運動の中で、「ゆとり週間」や「ノー残業デー」が府当局で実施することになったのは、本庁ニュースのキャンペーンの大きな成果です。今回、5000号を記念して、創刊号から5000号のすべてを収録したDVDも作成されました。多くの皆様のご協力があったからこそ5000号到達、さらなる発展が期待されています。

春の共済拡大キャンペーン抽選結果

- 特等<1本> WiiまたはiPod
岡本 才智子 (成人病C)
- 1等<1本> 商品券(3万円)
久山 芳文 (総合医療C)
- 2等<10本> 商品券(1万円)
島原和志 (母子医療C)、金子ゆり子 (保健所)、金子由美子 (保健所)、梶谷紀子 (保健所)、西野亜子 (農林)、西村祐一 (土現)、篠田伸司 (土現)、角谷久美代 (総合医療C)、箱嶋雄一 (健福)、奥西幸一郎 (府税)
- 3等<25本> スルツとKANSAI(千円)
富田潤子 (健福)、杉田満 (府税)、伊藤育雄 (府税)、松本沙織 (総合医療C)、喜多幸司 (商工労働)、佐々木敦志 (健福)、佐々木恭子 (健福)、岡理江 (府税)、世古泰士 (土現)、東野朝男 (土現)、足立艶子 (呼吸器・アレ医療C)、梅木三郎 (土現)、太田沙世子 (成人病C)、小松恵子 (保健所)、上田明美 (府税)、三杉隆文 (保健所)、永井澄子 (健福)、上田英実 (土現)、上野勝 (府税)、仲林敬 (土現)、塩崎雅章 (教委)、南悦夫 (土現)、中村一幸 (商工労働)、奥野智 (府税)、高橋幹子 (土現)

温泉で湯っくり

長島温泉バスツアー

南河内地区評・呼吸器・アレルギー医療センター支部共催

7月17日(土)、南河内地区評と呼吸器・アレルギー医療センター支部との共催で日帰りバスツアーを開催しました。今年、温泉で湯っくりにしていたらこうと、「長島温泉」を企画しました。

当日は、夏本番の汗ばむ陽気でした。参加者の、大人3名子ども6名は車中でビンゴゲームなどを楽しみながら長島温泉に到着。昼食をみんなであげた後、湯あみの島でくつろぐ方や子どもさんとスパランド内で遊んだり、ランドのとなりにあるアウトレットでショッピングする参加者など、本日に、日ごろのストレスを発散した1日でした。参加者からは「よかったです。時間的にもゆったり



和気あいあいと運動不足解消

ボウリング大会&交流会

中央・北大阪・南大阪地区評合同

7月21日(水)、中央・北大阪・南大阪の三地区評合同でボウリング大会を開催し、交流会も含めて48人が参加、日頃の運動不足を解消しました。



仕事が長引いて残念ながらゲームに参加できなかったけれど交流会には間にあった成人病Cの組合員は、「前の晩イメージトレーニングをし、名前まで考えていたのに、業務が終わらなくて、ゲームに参加出来ずがっかり!」とボソリ。ぜひ次回優勝をねらってまいります。

冷房の壊れた交流会の会場は、まさに熱気にあふれ、最後に左海中央地区評議長の音頭による一本締めで団結を固めました。